

令和2年度 施政方針と予算の概要

平成27年度に策定した「第2次城里町総合計画（平成28年度～平成37年度）」に基づき、

- 働く場所をつくる
- 住みよい環境をつくる
- 住む場所をつくる
- 愛する心を育成する

を4つの政策の柱として、今年度も人口減少対策に引き続き取り組みます。

令和の幕開けとなった去年は、自然の猛威を思い知らされる年になってしまいました。昨年10月に発生した台風第19号（令和元年東日本台風）は、城里町に過去最大の洪水被害をもたらしました。全国的な自然災害による被害を受けて、避難指示等の防災情報を全ての住民に迅速に伝えることの重要性が再認識されました。適切な避難行動が生命を守り、財産への被害の防止・軽減につながります。町でも、議会の承認が得られましたので、戸別受信機の全戸配布を前提とした防災行政無線システムの整備を、スピード感を持って進めて参ります。

一方、新時代令和の幕開けにふさわしい明るいニュースもありました。昨年12月に、高久地区において、アイジー工業株式会社が約35億円を投資した新工場が竣工しました。また、隣接するフォージテックカワベ株式会社では、10億円を超える資金を投入して工場を増築し、4月中の完成を目指しています。2社あわせて約50億円もの設備投資は、県央地区でも有数の大規模投資です。さらに、石塚地区においては、新たなドラッグストアの進出もありました。

工業・商業ともに大規模投資がこの城里町で行われていることは、城里町の魅力・潜在的な発展の可能性を企業が高く評価してくださっている証であります。

また、七会町民センター「アツマーレ」を拠点とする水戸ホーリーホックは、昨シーズン、過去最高の順位・勝ち点・観客動員数を達成し、大きな躍進を見せました。アツマーレで技術を磨いた選手が、日本のA代表やオリンピック代表にも選ばれ、大活躍をしています。廃校であった旧七会中学校が、日本を代表する一流のサッカー選手を育成する場所へと生まれ変わったことは、誇らしいことです。

水戸ホーリーホックの勢いに負けず、物産センター山桜も好調であり、売上は過去最高記録を更新し続けています。また、ふれあいの里も、過去最高の売上記録を2年連続で更新しているところです。やれば、できる城里町。まだまだ伸びる、城里町。今まさに、それを実感しているところです。

さて、令和2年度は、新ごみ処理施設建設工事及び衛生センター更新工事が本格化します。また、放課後児童クラブを利用するすべての子どもたちに快適な環境を提供するための施設整備など、城里町の「未来のための事業」を着実に進めていきます。

結びとなりますが、今後とも町民との対話、町民との協働を図りながら、まちの将来像である「人と自然が響きあい ともに輝く住みよいまち」づくりの実現に向け、全力で取り組んで参ります。



城里町長
上遠野 修

令和2年度は「未来のための事業」を充実！



新ごみ処理施設 整備 衛生センター 改修工事 (予算額：2,391,907千円)

ごみ処理施設の整備及び衛生センターの改修工事を行い、一般廃棄物の適正処理に努めます。



放課後児童クラブ施設整備 快適な環境を提供 (予算額：117,645千円)

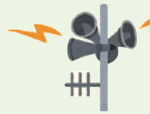
石塚小学校及び常北小学校の放課後児童クラブを整備し、運営環境の充実を図ります。

公営住宅・子育て支援住宅を 段階的に整備 (予算額：174,757千円)



老朽化した町営南・米沢団地を建て替え、高齢者や子育て世帯に対応した住居環境を整えます。

新防災情報伝達システム 整備 町内の伝達方式を統一 (予算額：385,633千円)



町内全域を網羅する新たな防災情報伝達システムを構築し、安心・安全な防災環境を整備します。

働く場所をつくる

● 全国的な景気回復が続く中、町内では十数億円を投資する大規模工場が建設中で、4月に稼働する見込みです。城里町企業立地奨励金の交付により、工場等への支援を行います。

● 介護・福祉・医療事業所と連携して、事業所に勤務する移住者に家賃を助成します。定住促進と介護・福祉・医療従事者の確保を図ります。

● 新規就農者の機械導入や施設整備に係る経費について支援します。

住みよい環境をつくる

● 路線バス「石塚・赤塚線」は、平日夜8時20分赤塚駅発石塚車庫行が増便となり、さらに通勤・通学に便利になりました。

● 給食費について、小・中学校に加えて、保育所及び認定こども園に通う3～5歳児の給食費無償化を行い、茨城県トップクラスの子育

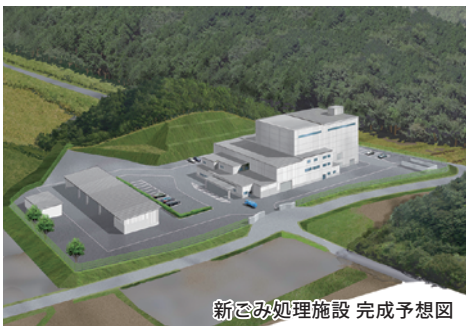
て支援を進めて参ります。

● 高校生までの医療福祉費支給制度『マル特・マル福』の適用を引き続き実施します。

● 石塚小学校及び常北小学校の放課後児童クラブを整備し、保護者が安心して就労できる環境を整えます。

● 合併前の3町村で異なっていた防災情報の伝達方式を、町内全域を網羅するデジタル方式に統一し、安心・安全な防災環境を整備します。

● 今年度の完成に向けて、新ごみ処理施設建設事業及び衛生センター更新事業を着実に進めます。



新ごみ処理施設 完成予想図

● 安心で安全な生活環境を確保するため、道路や河川、水道、下水道の改良及び修繕を行います。

住む場所をつくる

● 老朽化した公営住宅の建て替えに向けた実施設計及び解体、新築工事を行います。一部の公営住宅については、入居条件を緩和し、高齢者でなくても単身で入居できるようにします。

● 町内に住宅を取得する際の工事費及び土地の購入費に対し補助を行い、定住促進と町内商工業の振興を図ります。

住み続けたいと思う心をつくる

● 町への愛着を深めるために、町の魅力を表現した原動機付き自転車用のご当地ナンバープレートを作成します。

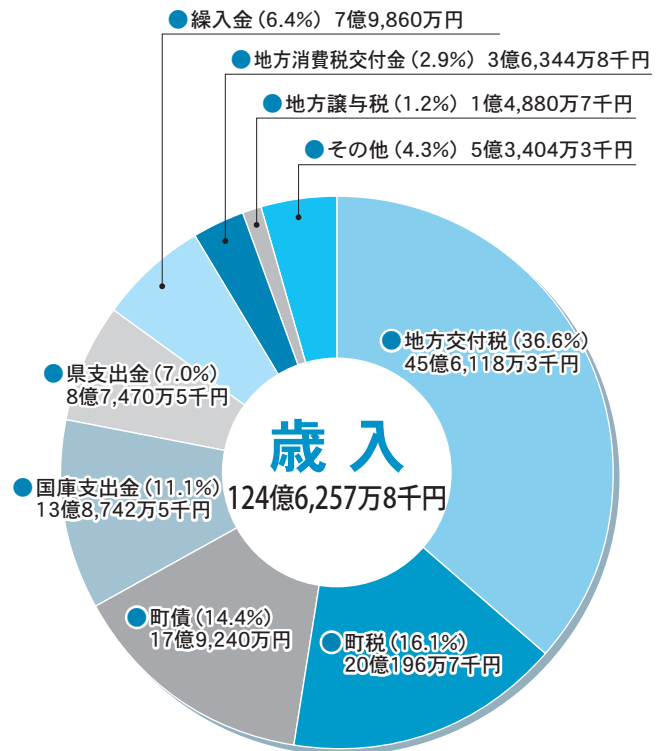
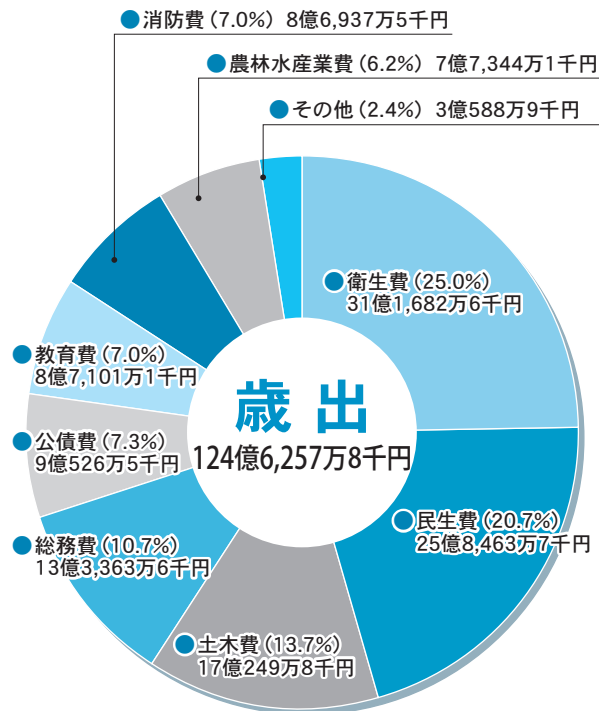
● 桂図書館・コミュニティセンター・城里図書館・七会町民センターの図書資料等を充実させ、生涯をとおして学ぶ環境を整えます。

● 桂公民館及び岩船地区分館のトイレ等の改修を行い、文化交流のための環境を快適にします。

一般会計予算総額 124億6,257万8千円 (対前年度比 18.3%増)

※()内の数値は構成比

令和2年度 町の予算



歳出

衛生費は、平成30年度からの継続事業である一般廃棄物処理施設整備事業費が主なもので、前年度比64%増の31億1,682万6千円としました。

民生費は、放課後児童クラブの施設整備事業に伴い、前年度比5.3%増の25億8,463万7千円としました。

土木費は、町営住宅建替事業費の増額により、前年度比39.5%増の17億249万8千円としました。

歳入

町税は、個人及び法人町民税、固定資産税、町たばこ税、軽自動車税が主なものであり、令和元年度の税収の動向などを踏まえ、前年度比1.6%減の20億196万7千円としました。

また、地方交付税と国庫支出金は、主に一般廃棄物処理施設整備事業に伴い増額しました。

町債は、一般廃棄物処理施設整備事業や防災情報伝達システム整備事業などにより、前年度比43.4%増の17億9,240万円となりました。

各会計の予算額

会 計 名	令和2年度 予算額	対前年度比
一般会計	124億6,257万8千円	18.3%増
特別会計等	75億5,082万1千円	3.2%増
国民健康保険特別会計(事業勘定)	22億6,271万2千円	2.4%減
国民健康保険特別会計(施設勘定)	2億1,403万円	0.2%減
後期高齢者医療特別会計	2億5,278万6千円	13.9%増
介護保険特別会計(保険事業勘定)	22億7,655万7千円	4.5%増
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	411万9千円	3.1%減
公共下水道事業特別会計	9億2,676万3千円	3.3%減
農業集落排水事業特別会計	2億7,969万6千円	0.2%減
水道事業会計	13億3,415万8千円	17.3%増
合 計	200億1,339万9千円	12.1%増

■商工費

- 住宅新築及び住宅新築用地購入事業補助 6,750千円
町内の施工業者により住宅を新築する場合の工事費や、土地の購入費の一部を補助します。

- 観光施設・健康増進施設改修事業
37,861千円

総合野外活動センターふれあいの里及び健康増進施設ホールの湯の改修工事を行い、利用者の安全性と利便性を図ります。



■土木費

- 新道川護岸整備事業 36,000千円
台風等の豪雨の被害を防ぐため護岸整備を行うとともに、遊歩道の整備を行います。
- 河川しゅんせつ事業 10,000千円
河川の氾濫による浸水被害を防ぐため、皇都川など町内河川の堆積土砂の撤去等を行う。
- 住宅リフォーム事業補助 3,000千円
町内の施工業者により住宅の改良工事を行う場合、経費の一部を補助します。
- 町営住宅建替事業 174,757千円
老朽化した町営南・米沢団地の建て替えを行います。



■消防費

- 災害ハザードマップ作成業務 2,640千円
災害ハザードマップを作成し、浸水想定区域及び土砂災害区域や避難に関する情報の周知を図ります。
- 防災情報伝達システム整備事業
385,633千円
老朽化した防災行政無線の更新のため、町内全域をカバーする新たなシステムを整備します。



■教育費

- 高等学校通学費助成事業 9,500千円
保護者の負担軽減を図るため、公共交通機関を利用して高等学校へ通学する費用の一部を助成します。
- 学校給食費負担軽減事業 歳入減61,051千円
保護者の負担軽減を図るため、児童生徒の給食費を無償化します。
- 桂公民館改修事業 47,776千円
利用者の利便性を向上するため、トイレの洋式化、非常用照明の改修、ホール天井等のアスベスト含有吹付材の撤去を行います。
- 学校給食センターフライヤー交換工事 9,061千円
長期使用で老朽化した調理器具を交換し、学校給食の充実を図ります。



令和2年度

一般会計の主な事業

■総務費

- 地域公共交通事業 52,298千円
デマンド交通システムの運行費用を補助するとともに、路線バスの運行を維持するため、乗合バス運行事業者に対して補助します。
- ご当地ナンバープレート作成事業 455千円
原動機付自転車のご当地ナンバープレートを作成し、町内外へ町の魅力をアピールします。



■民生費

- 医療福祉(マル福)事業 111,835千円
小児、妊産婦等の医療費を助成します。
- 特例小児・児童医療費助成(マル特)事業 16,628千円
マル福対象外の子どもの医療費を助成します。
- 保育所・認定こども園給食費補助 17,489千円
保護者の負担軽減を図るため、3・4・5歳児の給食費を助成します。
- 放課後児童クラブ施設整備事業 117,645千円
石塚小及び常北小の放課後児童クラブの施設整備を行い、運営環境の充実を図ります。



■衛生費

- 一般廃棄物処理施設整備事業 2,391,907千円
ごみ処理施設の更新を行うとともに、し尿処理施設の延命化工事を行い、一般廃棄物の適正な処理を行います。

■農林水産業費

- 鳥獣被害対策事業 7,539千円
イノシシ等の有害鳥獣による農林産物の被害を防止するため、鳥獣被害対策実施隊による駆除を行うとともに、狩猟免許取得や防護柵等の購入費用を補助します。
- 農業機械導入事業補助 3,000千円
耕作放棄地解消のため、農産物の生産意欲のある団体に対し、農業機械の購入費用を補助します。
- 新規就農者農業機械・農業施設等導入支援事業 3,000千円
農業者の育成・確保のため、新規就農者に対して農業機械購入費や施設整備費等の補助を行います。
- 農業競争力強化基盤整備事業負担金 5,060千円
増井地区土地改良区及び那珂川統合土地改良区の畑地基盤整備により、農地の持続性及び利便性の向上を図ります。

